



第 26 号
2023. 10. 20

シニアの学び舎

レイカディア大学だより 彦根キャンパス

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています。

第45期生 入学式挙行



令和 5 年 10 月 3 日、滋賀県レイカディア大学草津キャンパスで第 45 期生の入学式が挙行されました。

まず、新入生 216 名に入学許可証を授与され、その後、新しく就任された市川忠稔学長が式辞で激励のお言葉を述べられ、来賓祝辞の後、在学生の歓迎の辞がありました。最後に、新入生代表による宣誓が行われ、厳粛な雰囲気での式が終わりました。

学科名	彦根キャンパス			彦根 キャンパス	草津 キャンパス	合計
	園芸	北近江 文化	健康 づくり			
男	20	11	4	35	84	119
女	9	9	16	34	63	97
入学者数	29	20	20	69	147	216

『サポートの会』新年度スタート 第 11 期 新代表 渡邊幹雄

彦根キャンパス移転後 1 年が経過したレイカディア大学も本年 4 月から市川忠稔学長体制がスタートしました。そのような環境変化の中で私たちサポートの会第 11 期が 10 月からスタートをします。主体となる 42 期生は 2 学科しかありません。41・42・43 期生のサポートの会メンバー各々の協力なくしてはとても運営が困難です。今年度のサポートの会は再度原点に戻り、各自ができる範囲で(1) 学生募集(2) 在学生の授業支援(3) 会員交流事業の 3 点を柱として取り組んで参ります。そのためには大学事務局・草津キャン

パスサポートの会とも連携を密にしながら同窓会・えにしの会の皆さんの今まで以上のご支援とご協力をいただきたいと思います。

当会でぜひとも皆さんの知識・能力を、仲間づくりと在学生支援のために発揮していただきたいと思います。今年度は特に新しい取り組みはいたしません、皆さんの知恵と工夫で楽しいサポートの会になるよう努力させていただきます。



第10期サポートの会を振り返って

9月11日、サポートの会の第10期（令和4年4月～令和5年9月）活動報告ならびに第11期（令和5年10月～令和6年9月）活動計画の全体説明会が、彦根キャンパスで開催され、再委嘱者を含め39期・40期・41期・42期・43期の皆さんが出席されました。

当会はあらたに第43期の卒業生を迎え総勢122名となり、今後は在学生のサポートならびに交流会や学生募集活動に全員で精を出すこととなります。

◆ 代表 野村毅一

コロナの影響で大学の講義が半年間休講になり、それに伴いサポートの会第10期体制も4月にスタートし、すぐに44期生学生募集に取り組みました。

サポートの会々員のご協力のおかげで彦根キャンパス開校以来（旧米原校含む）初めてとなる3学科すべて定員超過を達成することができました。また45期生も新体制による活動により、連続2学科定員超過の応募となり、初の公開抽選会を実施することとなりました。2期連続輝かしい結果を収めることができました。皆様のお力添えの賜物と感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



◆ 総務部長 福永和明

第9期須藤総務部長から引継ぎを受けた時の正直な感想は私には須藤さんのような活動はとても無理だという思いでした。野村代表とも相談して、とにかく結果を出すことと第11期につなげていけるように簡素化と効率化を目指しましたが、皆さんの頑張りのお陰で学生募集活動においては最高の結果を得ることができました。また、各部門そしてPRJの皆さんには活動期間中怪我もなく活動していただき本当に感謝申し上げます。第11期の皆様にはできる範囲で楽しく活動いただくと嬉しく思っています。また、新設した交流部の活躍にも期待しております。



第11期サポートの会 活動計画

活動テーマ

『ささえあい、たすけあい、みんなで楽しもう』

基本方針

滋賀県レイカディア大学が草津キャンパス・彦根キャンパスとして昨年から新たにスタートしました。現在、65歳定年、70歳までの再雇用と雇用年齢が上がり、そのことからレイカディア大学に入学される年齢幅が減少し、非常に厳しい学生募集環境になってきていますが、43期・44期・45期と3年にわたり先輩方のご努力により3学科とも開講となりました。

サポートの会は、大学事務局、在学生、同窓会、えにしの会などと連携して今後も継続してレイカディア大学の認知度を上げることが大切であると考えています。

第8期からの学生募集スローガン「1・3・1・70」を継承し、“彦根キャンパスの基礎を作ろう”を目標に第10期の活動テーマを継承して計画達成を図るため、サポートの会全員で取り組み、サポートの会彦根キャンパスの基礎を作る覚悟です。

また、大学事務局との連携を密にして在学生の授業サポートをしながら会員相互の交流と親睦を図り、広く仲間づくりができる環境にして行きたいと考えています。



第43期生 卒業式

9月14日、彦根キャンパスと草津キャンパスの合同の卒業証書授与式が滋賀県立文化産業交流会館内イベントホールにて挙行されました。彦根キャンパスからは第43期の園芸学科24名、北近江文化学科17名ならびに健康づくり学科15名が出席されました。

厳粛な雰囲気の中、卒業生の緊張した面持ちと涙が心に残ります。コロナ禍で制約がある中、学生生活を満身に過ごせなかったことが悔やまれますが、良き仲間が沢山できたかと思われまします。卒業後は、その仲間と楽しくボランティア活動に励んでいただきたいと期待しております。



43期生から45期生へのメッセージ

◆ 園芸学科 矢野喜司男さん

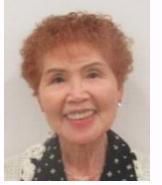
大学生活は楽しく充実していました。意欲を持ちやる気を持った仲間が多く、分野が違ういろいろな人の話を聞くことができたのが良かったと思います。45期生の方も新しい仲間と打ちとけ合って楽しく充実した集団を作っていくてください。



園芸学科では、野菜や果樹などの栽培だけでなく、剪定や盆栽などもそれぞれのプロの先生から学ぶことができます。授業以外でも色々な事に取り組めるので新しいことにぜひチャレンジしてみてください。

◆ 北近江文化学科 末森一美さん

私自身、レイカディア大学に入って本当に良かったと思っています。それは、自分だけですべてを成してきた今までと違って、クラスの仲間の皆で一つ一つ完成させることからくる喜びや充実感がとても大きかったからです。たとえ価値観や考え方が異なっても、クラスの仲間として出会うことを契機に、交じり合い、新しい一つの塊・チームになっていくような……。そんな体験を通して“大学に入って良かった”と実感しているところです。45期生の方には、学校での仲間との新たな出会いを大切にいただき、楽しい学校生活を送られんことを期待いたしております。



◆ 健康づくり学科 樋水昭宏さん、吉井美千代さん

「なにか感じるところがあって入学されたと思う。ここで一気に花開く。なぜなら、それは歴代の卒業生が繰り返し体験してきているから。学びのおかげで私は80歳を超えても元気。しかし、一番の学びは、共に学ぶ仲間とつながり、多くの生き方や体験を共有できること」（樋水）「入学の時、この歳になって勉強するの？と言われた。ここへ入学する人はみんな前向きの人ばかりなので、内気控え目の人でも自然と積極的になり力がだせるようになる。今では、楽しくて卒業したくない」（吉井）



ニュースポーツ大会 2023

5月25日(木)に、彦根キャンパスと初めて初めてのニュースポーツ大会が、最近建設された南彦根駅に近い「プロシードアリーナ HIKONE」のメインアリーナ(体育館)で開催されました。



午前には各学年学科チームが館内4か所に分かれて囲碁ボール、ポッチャ、カローリング、公式輪投げの4種目を競いました。午後1時~2時は、レクリエーションゲームとしてじゃんけんゲームと玉入れ。声がひと際大きくなっていました。14時から、懐かしのフォークダンスであるオクラホマミキサーとマイムマイム(写真)の2曲を踊りました。競技結果よりも、触れ合いと楽しさを第一にしたニュースポーツ大会でした。

大学祭 2023

今年の大学祭は、7月14日~15日、新しく生まれ変わった彦根キャンパスのコージータウンで初めて行われました。各教室には学科毎に学習成果を記載したポスターや作品の展示がされていました。健康寿命を伸ばすコーナー、近江の城紹介、コケ玉の展示など、どの学科も工夫や努力の跡が見られる見応えのある展示でした。

オープンスペースも健康コーナーや体験コーナーなど多くの人で賑わっていました。サポートの会や同窓会も学生募集コーナーやパネル展示などで参加しました。会場の広さの制限はありましたが、レイカディア大学の魅力を存分に伝え、学習成果発表の場として素晴らしい大学祭でした。



第10期サポートの会下期活動報告

園芸学科部会

◆ 雲迎寺（サツキ寺）剪定実習 6月20日

44期29名、サポートの会11名の参加で実施されました。境内には樹齢380年のサツキをはじめ樹木が1千株もあると言われていました。作業を始める前にご住職様の愉快なご挨拶があり、その後講師の北村先生より作業内容の説明と注意がありました。なるべく樹高を低くする、切り戻し剪定と透かし剪定をするよう指導がありました。44期生は人数が多いため6班集体制での作業でしたが、サポートの会からも多く参加していただき、複数人でのサポートができました。



北近江文化学科部会

◆ 44期校外学習 安土城の見方 5月2日

五月晴れの中、サポートの会より4名が安土城址に集合。今回は山城の第一人者である中井均先生にご指導をいただきました。先生は石垣などを説明しながらゆっくり登り、広場に出ると受講生を集めて丁寧に講義をされました。一方、受講生は先生の話聞き漏らさないようにとノートにペンを走らせたり、また、講義が終わった途端に質問が飛び交うなど熱意を感じました。講義とは直接関係ないのですが、山の中を散策するという事で学科長をはじめ男性陣が簡易トイレとテントを背負って参加されていた事に非常に感銘しました。サポートをしているつもりでしたが、学ばせていただくことがたくさんあった1日でした。

健康づくり学科部会

◆ 健康グラウンドゴルフ大会 5月16日

在学生の皆さんとサポートの会のスポーツ交流を図るべく、雨天でも実施可能な能登川の「やわらぎの郷公園」にて、36名でグラウンドゴルフ大会を開催しました。7組に分かれて2ゲームトータルで競い合いました。初めての方もおられましたが、皆さん和気あいあいと楽しくプレーされていました。天候にも恵まれ良き交流の場となりました。

レイカディア大学だより彦根キャンパス 2023年10月20日第26号

発行：滋賀県レイカディア大学 ☎ 0749-21-6333

彦根キャンパス サポートの会（広報部）

■ 彦根市大東町2-28

（アル・プラザ彦根4階 COZY TOWN内）

■ 彦根キャンパス

サポートの会ホームページ：

<http://lacamaibara.com/support/index.html>



学生募集プロジェクト

◆ プロジェクトリーダー 大堀和雄

彦根キャンパスは、北近江文化学科と健康づくり学科の入学応募数が定員を超え、園芸学科が定員に近くとなりました。定員超過の2学科は8月10日公開抽選となり、せっかく応募されたのに抽選になるのは複雑な思いでした。



しかしながら、目標が達成できたことに安堵の胸をなでおろすと同時に、10月に入学される45期の皆さんが今後2年間の学びを通して、楽しさと生きがいを見つけ、今後の人生を素晴らしいものにしていかれることを願いたいと思います。

ふりかえれば、第10期サポートの会はコロナ禍の影響で1年半の活動になり、学生募集プロジェクトは、44期と45期の募集を担当することになりました。この間、多くの方々のご理解とご協力を得て、役割を無事に終わらせることを皆で労りたいと思います。

そもそも、なぜサポートの会が学生募集をするのか。かつて、レイカディア大学が存続の危機を迎えたときサポート隊が立ち上げられ、それ以来学生募集が大事な活動になったと理解しています。私なりに考えた意義は「楽しみのバトンパス」であり「レイカディアのバトンを次の人につなぐ」ということです。要項を持って行き、チラシを配り、座談会に参加し、学生募集コーナーに立ち、忙しい中にも時間を作って、楽しくおしゃべりしながら（ここが大事！）活動しました。この「つなぐ」という活動の原動力は学生募集プロジェクトのチームワークであったと思います。

あらためて学生募集プロジェクト・在学生・同窓会・事務局の皆さまに感謝を申し上げます。

レイカディア大学事務局ご紹介

現在、彦根キャンパス事務局には瀧口美津子さん、宇野智絵さん、谷田川真紀子さんの3名の方が常駐されており、在学生の学生生活やサポートの会の活動にご支援をいただいております。宇野さんは、1年振りに事務局へ復帰されております。

＜編集後記＞

この度、広報・情報室から広報部へ名称変更しました。在学生の委員会も彦根キャンパスへ移転後、大きく変わりましたので、これに合わせ名称も共通化し、バトンパスを容易にする狙いです。これから42・43期への業務引継ぎを行ないませんが、39期藤森勉さんならびに居原田順治さんには長年に亘り当部をご支援いただき感謝申し上げます。40期の方々には引き続き、ご支援いただくことになりました。よろしく願いいたします。（H.T）